

令和6(2024)年度

# ふたばこども園自己評価



認定こども園

佐賀女子短期大学付属

ふたばこども園

令和7(2025)年2月21日

# も く じ

## ページ

- 1 園の教育・保育目標等
- 2 保護者のアンケート結果（0・1・2・満3歳児）
- 3 保護者のアンケート結果（3・4・5歳児）
- 4 保護者のアンケート結果の集計（総合）
- 5 教職員の自己評価
- 6 保護者のアンケート及び教職員の自己評価による総合評定
- 7 総合評価、次年度への課題及び改善策
- 8 次年度への課題・改善策、評価委員の意見

1. 学校教育目標

「遊びは学び」という乳幼児教育の理念を基本とし、子どもの主体的、創造的活動を促すとともに集団生活をとおして、思いやりの心や社会性を身につけ、生きる力の基礎を培う。

2. 求める子どもの姿（①～知識や技能、②～思考力・判断力・表現力等、③～学びに向かう力、人間性等）

やさしく	かしこく	たくましく
○ 感性豊かな子 ③	○ 様々な気づきや発見を楽しめる子 ①	○ 進んで運動する子 ①
○ 相手の気持ちを受け止める子 ③	○ 新しい考えを生み出す子 ②	○ 遊びを通して身体感覚を高める子 ①
○ 思いやりの心を持ち、行動に移せる子 ③	○ 自分の思いを表現し、伝え合える子 ②	○ 自然に親しみ、自然のすばらしさと戯れる子 ②

3. 教育方針

【青文字】は新「認定こども園教育・保育要領」に示された、幼児期の終わりまでに育てたい10の姿

① 食事を楽しみ、健康や望ましい食生活習慣を身につけるようになる。 【健康な心と体】
② 目標を定めて挑戦し、充実感や満足感、そして達成感を味わうことができるようになる。 【自立心】
③ 日常生活・集団生活の中で言葉を通して人間関係を深めるようになる。 【協同性】
④ あいさつや決まりを守ることなど集団生活に必要な生活習慣が身につくようになる。 【道徳性・規範意識の芽生え】
⑤ 地域とのつながりを深め、豊かな体験ができるようになる。 【社会生活との関わり】
⑥ 体験活動や探究活動を重視し、感性を高め、知的発達が生える。 【思考力の芽生え】
⑦ 身の回りのものや自然の事物と親しむ中で、生命の神秘や不思議さ、美しさを感じ、自然を大事にしようとする。 【自然との関わり・生命尊重】
⑧ 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、それらに興味や関心、感覚を持つようになる。 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
⑨ 豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝えあいを楽しむようになる。 【言葉による伝え合い】
⑩ 心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせ、表現する喜びを味わうことができるようになる。 【豊かな感性と表現】

4. 評定

評定の基準	関係者評価の判定基準
A とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が75%以上	A 園の自己評価を 納得できる
B とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が60%以上75%未満	B // だいたい納得できる
C とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%以上60%未満	C // あまり納得できない
D とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%未満	D // 納得できない

5. 保護者のアンケート結果 …… 資料1-1 ・ 資料1-2 ・ 資料1-3

6. 教職員の自己評価 …… 資料2

5 園の自己評価のための保護者アンケート 集計 【0・1・2・満3歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料 1-1

No	観点	アンケートの内容	評価の段階					評価の段階		
			①	②	③	④	⑤	①+②	③+④	⑤
			とても そう思う	そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない			
1	教育・保育 の目標	ふたばでは、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念に基づき、子どもの主体性や自発的な遊びを大切に教育・保育に努めています。また、こうした取り組みは、こども家庭庁から「先駆的な取り組み」を行っている園として選ばれました。子どもたちは遊びを通して成長し、のびのび元気に園の生活を送っていると思いますか？	55	18				73		
			75.3%	24.7%				100%		
2	教育・保育 の工夫 及び研修	ふたばでは、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りの遊具やおもちゃを準備するなどして、遊びの環境を整えるようにしています。また、月1回以上の園内研修（勉強会）を行ったり、著名な先生をお招きして指導を受けたりして研鑽を積んでいます。こうしたことは、質の高い教育・保育を提供することにつながっていると思いますか？	52	19	1		1	71	1	1
			71.2%	26.0%	1.4%		1.4%	97.3%	1.4%	1.4%
3	組織力	ふたばでは、毎日、話し合いを行い、教育・保育や行事等の実践を振り返り、情報等の共有を行っています。また、子どもの保育や支援などについて、先生（職員）同士で連携したり、協力したりするように努めています。先生（職員）たちはチームワークが取れていると思いますか？	43	26	2		2	69	2	2
			58.9%	35.6%	2.7%		2.7%	94.5%	2.7%	2.7%
4	安全・環境	ふたばでは、毎月園舎や遊具の安全点検を行ったり、はう、立つ、歩くなどの行動が自由にできるように保育室の環境整理を行ったりしています。こうしたことは、子どもたちが安心して、安全に、園で過ごすための環境づくりに努めていることになると思いますか？	49	24				73		
			67.1%	32.9%				100%		
5	連携・信頼	ふたばでは、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話しし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。担任（先生たち）に、気軽に連絡や相談、お話などができますか？	38	32	2		1	70	2	1
			52.1%	43.8%	2.7%		1.4%	95.9%	2.7%	1.4%
6	園の公開	ふたばでは、個人情報の保護に配慮しながら、お便りや写真の掲示、Instagramなどで、子どもたちの遊びの様子や育ちの姿を保護者に伝えようと工夫しています。こうしたことは、園の「公開」や「見える化」につながっていると思いますか？	47	24	1		1	71	1	1
			64.4%	32.9%	1.4%		1.4%	97.3%	1.4%	1.4%
7	道徳性 の指導	ふたばでは、できるだけゆったりとした園生活が送れるように、一人一人の生活リズムを考えながら、給食や午睡などのやり方を工夫したり、遊びの環境を作ったりしています。こうしたことは、子どもたちの健やかな成長につながっていると思いますか？	49	23			1	72		1
			67.1%	31.5%			1.4%	98.6%		1.4%
8	生活習慣 の指導	ふたばでは、やさしく声をかけ、応答を楽しんだり、スキンシップを取ったりすることに努めています。こうしたことは、お子さまが安心して、のびのびと園生活を送ることにつながっていると思いますか？	55	17			1	72		1
			75.3%	23.3%			1.4%	98.6%		1.4%
9	身近な 人々との かかわり	ふたばでは、身近なところに散歩に出かけたり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊ぶ機会を多く持ったりしています。こうしたことは、子どもたちに多様な体験やいろいろな人との関わりを大切にする教育・保育を提供していることにつながると思いますか？	58	15				73		
			79.5%	20.5%				100%		
10	食育	ふたばでは、授乳や給食について家庭と連携を取り、一人一人の体調の変化や生活リズムに合わせて、ゆったりと関わりながら飲食させるように努めています。こうしたことは、「食育」の推進につながると思いますか？	49	23			1	72		1
			67.1%	31.5%			1.4%	98.6%		1.4%

5 園の自己評価のための保護者アンケート 集計 【3・4・5歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-2

NO	観 点	ア ン ケ ー ト の 内 容	評価の段階					評価の段階		
			①	②	③	④	⑤	①+②	③+④	⑤
			とても そう思う	そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない			
1	教育・保育 の目標	ふたばでは、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念に基づき、子どもの主体性や自発的な遊びを大切に教育・保育に努めています。また、こうした取り組みは、こども家庭庁から「先駆的な取り組み」を行っている園として選ばれました。子どもたちは遊びを通して成長し、のびのび元気に園の生活を送っていると思いますか？	108	49			1	157		1
			68.4%	31.0%			0.6%	99.4%		0.6%
2	教育・保育 の工夫 及び研修	ふたばでは、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りの遊具やおもちゃを準備するなどして、遊びの環境を整えるようにしています。また、月1回以上の園内研修（勉強会）を行ったり、著名な先生をお招きして指導を受けたりして研鑽を積んでいます。こうしたことは、質の高い教育・保育を提供することにつながっていると思いますか？	104	47	4	1	2	151	5	2
			65.8%	29.7%	2.5%	0.6%	1.3%	95.6%	3.2%	1.3%
3	組織力	ふたばでは、毎週学年の話し合いを行い、教育・保育や行事等の実践を振り返り、情報等の共有を行っています。また、子どもの保育や支援などについて、先生（職員）同士で連携したり、協力したりするように努めています。先生（職員）たちはチームワークが取れていると思いますか？	104	48	3		3	152	3	3
			65.8%	30.4%	1.9%		1.9%	96.2%	1.9%	1.9%
4	安全・環境	ふたばでは、毎月施設や遊具の安全点検を行ったり、各保育室などの清掃や整理整頓を行ったりしています。こうしたことは、子どもたちが安心して、安全に、園で過ごせる環境づくりに努めていることになると思いますか？	117	39			2	156		2
			74.1%	24.7%			1.3%	98.7%		1.3%
5	連携・信頼	ふたばでは、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話をし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。担任（先生たち）に、気軽に連絡や相談、お話などができますか？	102	51	2	1	2	153	3	2
			64.6%	32.3%	1.3%	0.6%	1.3%	96.8%	1.9%	1.3%
6	園の公開	ふたばでは、個人情報の保護に配慮しながら、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで、子どもたちの遊びの様子や育ちの姿を保護者に伝えようと工夫しています。こうしたことは、園の「公開」や「見える化」につながっていると思いますか？	87	64	4		3	151	4	3
			55.1%	40.5%	2.5%		1.9%	95.6%	2.5%	1.9%
7	道徳性 の指導	ふたばでは、子ども同士のトラブルや人を傷つけるような言動があった場合、子どもの意見や思いを聴きながら、子ども自身が納得し解決するように努めています。こうした指導は、規範（ルール）や自分も友達も大切にするなど、道徳性の芽生えを育てていると思いますか？	98	55	2		3	153	2	3
			62.0%	34.8%	1.3%		1.9%	96.8%	1.3%	1.9%
8	生活習慣 の指導	ふたばでは、子どもたちに基本的な生活習慣が身に付くように、先生たちがあいさつや正しい言葉遣い等を自ら励行し、子どもの手本となるように努めています。こうしたことは、子どもが自分の成長に応じて、生活習慣を身に付けることにつながっていると思いますか？	109	47	1		1	156	1	1
			69.0%	29.7%	0.6%		0.6%	98.7%	0.6%	0.6%
9	身近な 人たちとの かかわり	ふたばでは、地域の公園や公共の施設に出かける園外保育を行ったり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊ぶ機会を多く持ったりしています。こうしたことは、子どもたちに多様な体験やいろいろな人との関わりを大切にする教育・保育を提供していることにつながると思いますか？	117	38	2		1	155	2	1
			74.1%	24.1%	1.3%		0.6%	98.1%	1.3%	0.6%
10	食育	ふたばでは、子どもたちが給食や食べものに興味・関心を持つように指導の工夫をしたり、給食のメニューをインスタグラムで紹介したりしています。こうしたことは、「食育」の推進につながると思いますか？	107	44	4		3	151	4	3
			67.7%	27.8%	2.5%		1.9%	95.6%	2.5%	1.9%
年 長 の み	幼小の 接続・連携	年長児は、近隣の小学校を訪問し（例年2月に本庄小を訪問します）、小学生とのふれあいの活動等に参加しています。また、先生たちは子どもたちが進学する小学校を訪問し、情報交換や事務連絡等を行っています。こうしたことは、幼小の接続や連携に役立っていると思いますか？	40	14	1		3	54	1	3
			69.0%	24.1%	1.7%		5.2%	93.1%	1.7%	5.2%

5 園の自己評価のための保護者アンケート 集計 【総計】

(上段：人数・下段：割合)

資料 1-3

【0・1・2・満3歳児 保護者】

【3・4・5歳児 保護者】

【保護者 総合】

NO	評価の観点(項目)	評価の段階			評価の段階			評価の段階		
		①+②	③+④	⑤	①+②	③+④	⑤	①+②	③+④	⑤
		とてもそう 思う + そう思う	あまりそう 思わない + そう思わない	わからない	とてもそう 思う + そう思う	あまりそう 思わない + そう思わない	わからない	とてもそう 思う + そう思う	あまりそう 思わない + そう思わない	わからない
1	教育・保育の目標	73 100%			157 99.4%		1 0.6%	230 99.6%		1 0.4%
2	教育・保育の工夫 及び研修	71 97.3%	1 1.4%	1 1.4%	151 95.6%	5 3.2%	2 1.3%	222 96.1%	6 2.6%	3 1.3%
3	組織力	69 94.5%	2 2.7%	2 2.7%	152 96.2%	3 1.9%	3 1.9%	221 95.7%	5 2.2%	5 2.2%
4	安全・環境	73 100%			156 98.7%		2 1.3%	229 99.1%		2 0.9%
5	連携・信頼	70 95.9%	2 2.7%	1 1.4%	153 96.8%	3 1.9%	2 1.3%	223 96.5%	5 2.2%	3 1.3%
6	園の公開	71 97.3%	1 1.4%	1 1.4%	151 95.6%	4 2.5%	3 1.9%	222 96.1%	5 2.2%	4 1.7%
7	道徳性の指導	72 98.6%		1 1.4%	153 96.8%	2 1.3%	3 1.9%	225 97.4%	2 0.9%	4 1.7%
8	生活習慣の指導	72 98.6%		1 1.4%	156 98.7%	1 0.6%	1 0.6%	228 98.7%	1 0.4%	2 0.9%
9	身近な人たちとの かかわり	73 100%			155 98.1%	2 1.3%	1 0.6%	228 98.7%	2 0.9%	1 0.4%
10	食育	72 98.6%		1 1.4%	151 95.6%	4 2.5%	3 1.9%	223 96.5%	4 1.7%	4 1.7%

## 6. 教職員の自己評価 集計表

(上段：人数・下段：割合)

資料 2

NO	評価の観点	評価内容	評価の段階				評価の段階	
			① よく あてはま る	② あてはま る	③ あまり あてはま らない	④ 全く あてはま らない	①+②	③+④
1	教育・保育 の目標	「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や本園の目標に基づき、子どもの主体性を大切にし、遊びを通した教育・保育を実践するように努めている。	13 56.5%	10 43.5%			23 100%	
2	指導の 工夫・改善	子どもたちが主体的に遊び、豊かな体験ができるように、遊びの環境や指導の工夫・改善に努めている。	13 56.5%	10 43.5%			23 100%	
3	組織力	教育・保育や学年学級経営、学年の課題等に対し、組織力やチームワークを大切にする意識を持ち、学年や先生方で話し合ったり、協力したりしている。	10 43.5%	13 56.5%			23 100%	
4	安全・環境	施設・設備の安全について定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室などの清掃、整理・整頓に努めている。	8 34.8%	14 60.9%	1 4.3%		22 95.7%	1 4.3%
5	連携・信頼	子どもが安心して園ですごしたり、保護者が気軽に相談したりできるように、子どもや保護者との信頼関係を作るように努めている。	11 47.8%	12 52.2%			23 100%	
6	園の公開	保護者参加の行事や保育参観・保育参加、学年便りやインスタ等を通して、園の様子を公開するように努めている。	14 60.9%	9 39.1%			23 100%	
7	道徳性の 指導	してよいこと、悪いことなどの規範や自分も友達も大切にするなど、道徳性や規範意識を育てるように努めている。	12 52.2%	11 47.8%			23 100%	
8	生活習慣の 指導	挨拶をするやきまりを守るなど、基本的な生活習慣が身に付くように自ら率先して手本を見せたり、指導したりするように努めている。	15 65.2%	8 34.8%			23 100%	
9	身近な人たち のかかわり	短大の学生や高校の生徒とのふれあいを活かしたり、身近な地域や公園などに出かける園外保育を工夫したりして、子ども達によりよい教育・保育を提供するように努めている。	7 30.4%	15 65.2%	1 4.3%		22 95.7%	1 4.3%
10	食育の推進	子どもたちが望ましい食の習慣を身に付けるように、給食指導等を行ったり、家庭と連携を図ったりするように努めている。	9 39.1%	13 56.5%	1 4.3%		22 95.7%	1 4.3%
11	幼小の 接続・連携	年長では、小学校生活に期待や憧れを抱く機会を設けたり、「10の姿」を意識した教育・保育に取り組んだりしている。 (年長児担当)		4 100.0%			4 100%	

7. 園の自己評価及び保護者アンケートによる総合評定と評価委員の評定

【保護者 総合】

【教職員の自己評価】

NO	評価の観点 (項目)	評価の段階			評価の段階		評定			評定の気づき	関係者評価委員の評定	
		そう思う ①+②	そう 思わない ③+④	わから ない ⑤	あてはまる ①+②	あてはま らない ③+④	保 護 者	教 職 員	総 合		評 定	講 評
1	教育・保育 の目標	230		1	23		A	A	A	「遊びは学び」の理念に基づき、子ども主体の教育・保育を意識しながら職員は日々、教育・保育に携わっている。また、保護者の多くが子どもの姿から子ども主体の教育・保育の実践を支持している。	A	○「遊び」を大切に、子ども主体とする教育・保育に取り組んでおり、それが保護者にも伝わっていると同時に、職員の共通理解が図られている。(学識経験者)
		99.6%		0.4%	100%							
2	教育・保育 の工夫、研修	222	6	3	23		A	A	A	子ども主体の教育・保育を実践するために、職員は種々の研修を通して研鑽を積み、遊びの環境を整えている。保護者の多くが質の高い教育・保育につながると評価している。	A	○研修の充実が職員のチームワークや環境整備の向上につながっており、保護者も安心して子どもを預けることができています。(学識経験者)
		96.1%	2.6%	1.3%	100%							
3	組織力	221	5	5	23		A	A	A	話し合いの時間がとれない中、工夫をして情報の共有を行い、職員同士が連携をしながら、チームワークや組織力を意識して日々の教育・保育を行っている。保護者の多くが、チーム力があると思っている。	A	○地域の人や短大・高校生など多様な人とのつながりが、子どもにプラスの影響を与えており、それが保護者にも伝わっている。(学識経験者)
		95.7%	2.2%	2.2%	100%							
4	安全・環境	229		2	22	1	A	A	A	もっと環境整備に努めなければと、自己に厳しく評価した職員が1名いたが、多くの職員が安全や環境の整備に気を遣いながら、日々の実践に臨んでいる。また、保護者の多くが安全な環境作りに取り組んでいると思っている。	A	○一名の保育者の謙虚な回答があった。向上心の表れである。真面目が故に自分を追い込みやすいと思われるので、チームで支えてほしい。(学識経験者)
		99.1%		0.9%	95.7%	4.3%						
5	連携・信頼	223	5	3	23		A	A	A	職員は全員が保護者との連携をできるだけ図り、信頼関係を作るように努めている。また、保護者の多くが連絡や相談等がしやすいと思っている。	A	○多忙の中にも積極的に研修に向き合い、研鑽を積み重ねられている様子が見える。(地域代表)
		96.5%	2.2%	1.3%	100%							
6	園の公開	222	5	4	23		A	A	A	全職員がいろいろな工夫をしながら、園の様子を公開するように努めている。保護者の多くが園の「公開」や「見える化」になっていると評価している。	A	○職員が保護者との関わりを積極的に持とうとしている。言葉での会話が効果的である。(地域代表)
		96.1%	2.2%	1.7%	100%							
7	道徳性 の指導	225	2	4	23		A	A	A	全職員、子どもたちが道徳性や規範意識を育てるように、日々の実践の中で取り組んでいる。保護者の方も先生たちが道徳性や規範意識を育てるようにしていると評価している。	A	○保育参加やふたばまつり、運動会、おたのしみ会など子どもたちの園での様子や子どもたちが主体となって創り上げる行事の意義が保護者にも伝わり、広がっているように思える。(保護者)
		97.4%	0.9%	1.7%	100%							
8	生活習慣 の指導	228	1	2	23		A	A	A	「挨拶をする」や「きまりを守る」などを、全職員が自ら手本を見せたり指導したりすることを通して、子どもに基本的な生活習慣が身に付くように努めている。保護者の多くが、そうしたことは生活習慣を身につけることにつながると評価している。	A	○今まで意識したことがなかったが、「遊びは学び」で、子どもの成長が物語っていると感ずる。(保護者)
		98.7%	0.4%	0.9%	100%							
9	身近な人たち とのかわり	228	2	1	22	1	A	A	A	全職員、身近な地域や公園などに出かける園外保育及び短大・高校の学生・生徒とのふれあいや実習などを活かし、子どもが身近な人たちとの関わりを持つように工夫している。保護者の多くが、社会性が育つ質の高い教育・保育につながっていると評価している。	A	○休みの日などにも研修に行かれ大変だと思うが、職員が組織力やチーム力がなければ賞などももらえないと思う。(保護者)
		98.7%	0.9%	0.4%	95.7%	4.3%						
10	食育	223	4	4	22	1	A	A	A	全職員が、子どもたちに望ましい食の習慣を身に付けるように、給食指導を行い、家庭と連携を図ることに努めている。また、給食のメニューをInstagramで紹介したりしている。保護者の多くは、こうしたことは「食育」の推進につながっている。	A	○情報共有はできていると思うが、時々聞いていませんと言われるときがある。また、園舎などにほこりがたまっていることがあり、少し残念である。(保護者)
		96.5%	1.7%	1.7%	95.7%	4.3%						



## 8. 総合評価

①	アンケートの回収率は昨年度とほぼ同じ率で、92.03% (231/251)であった。回収率の内訳は、3歳未満児が73/78で93.6%、3歳以上児が158/173で91.3%であった。90%以上の高い回収率は、保護者の園の教育・保育や子どもの成長等に対する関心の高さであると思う。また、多くの保護者にご協力いただいたことに感謝したい。今後も、アンケートの内容についてより具体的な取り組みを示し、回答しやすいアンケートになるように工夫していきたい。
②	保護者アンケート10項目すべてにおいて「そう思う」が95%以上の高い評価をいただいた。特に、「教育・保育の目標」、「安全・環境」、「生活習慣の指導」、「身近な人々とのかわり」の4項目においては98%以上という高い値だった。本園の教育・保育の柱としている「子ども中心の教育・保育」や日頃の教育・保育の実践等をご理解いただけてきた証であると思う。
③	職員には自身のことを振り返る自己評価を実施した。10項目すべてにおいて「あてはまる」の評価が95%を超える結果となった。特に、「教育・保育の目標」「教育・保育の工夫・研修」、「組織力」、「連携・信頼」、「園の公開」、「道徳性の指導」、「生活習慣の指導」の7項目で、「あてはまる」の評価が100%だった。職員の教育・保育に対する前向きな姿勢や日々の実践に工夫や努力を行っていることができた。3項目で1名が「あてはまらない」の評価を行っている。その職員は、よく努力をしている様子がうかがえるが「もっとやればよかった」や「もう少し努力しなければ」という自己評価をかなり厳しくした職員だった。また、保護者対応が難しいという職員の声があり、教育・保育以外の研修の機会を増やす必要があると感じた。
④	保護者アンケートで「そう思う」が10項目全てで95%以上であったが、「教育・保育の工夫・研修」、「組織力」、「連携・信頼」、「園の公開」の4項目において「そう思わない」が5～6名(2.2～2.6%)あった。職員はこの4項目は全員が「あてはまる」と評価しており、保護者の思いと若干ずれがあった。また、この4項目は、昨年度も「そう思わない」の値がある項目であった。昨年度よりも人数は減少しているが、ここ数年続いている傾向である。保護者の「そう思わない」の理由や要因を探りながら、今後も改善や工夫をしていきたい。
⑤	今年度、保護者アンケートの項目を13項目から10項目に集約、編集した。また、アンケートの内容もできるだけ答えやすいものへと変更してみた。そのためか「わからない」の値が減ってきた(44から29)。さらに、アンケートの内容を、評価内容ではなく、日々の教育・保育や運営が、子どもの育ちや成長につながっているかを見てもらうことに変更した。

## 9. 次年度への課題・改善策

①	教育・保育の工夫及び研修 (観点2)	子どもたちが主体的に、自発的に遊び、いろいろなことを経験し、学んでいくように「遊びの環境」を研究し、工夫している。また、多くの講師を招聘し、どの園よりも園内研修を行い、研究保育や公開保育を実践している。そうした取り組みがあり、こども家庭庁からは「先駆的な取り組み」の園としてふたばの実践が紹介された。また、保育専門書(ずれを楽しむ保育)の執筆を依頼されたり、ソニー教育財団が主催する幼児教育の実践論文で「奨励賞」を受賞したりした。職員は全員がこの観点に関しては、努力し、頑張ったと自己評価をしている。しかし、保護者のアンケートでは、全体で6名ではあるが、こうした取り組みが質の高い教育・保育につながっているとは思われていない。その理由を探る必要があるが、これからの幼児教育が、「子ども主体」の教育・保育であることを、子どもの育ちを通して周知していかなければならないと思う。
②	組織力 (観点3)	職員は全員が組織力やチームワークの向上を意識しながら、日々の教育・保育の実践を心がけている。保護者の多くが先生たちのチームワークが取れていると思われるが、全体で5名(2.2%)が「そう思わない」、5名(2.2%)が「わからない」と回答している。組織力やチームワークは、外からはなかなか見ることができないし、判断しにくいものである。アンケートの内容等を工夫し、判断しやすいものにする必要があるかもしれない。
③	連携・信頼 (観点5)	保護者の多くは「そう思う」が96.5%(昨年度は93.6%)で、「そう思わない」が5名(2.2%・昨年度4.5%)で、厳密な比較はできないが、「そう思わない」の率が減少したことは嬉しい限りである。職員の自己評価は、昨年度に引き続き「そう思う」が100%であり、保護者との連携や信頼関係を築くために努力していることが伺える。職員はできるだけ保護者と直接話したり、電話で連絡をしたりすることを心がけている。また、インスタグラムや写真の掲示等で子どもたちの様子を頻繁に公開するなどして、子どもの様子を伝える努力をしている。これからも、保護者との信頼関係を築くことに努力や工夫をしていきたい。
④	園の公開 (観点6)	昨年度もこの観点については課題として取り上げた。今年度も、いろいろな行事や保育参観・参加、誕生会など、保護者が来園する機会は多く設けた。また、インスタグラムも内容や質の高まりを考え、個人保護の観点を大切に公開した。職員は全員が、園の「公開」や「見える化」は大切なことであると意識し、いろいろな工夫を行っていることがわかる。保護者も「そう思う」が96.1%(昨年度は94.7%)であり、職員の取り組みに良い評価をいただいている。ただし、「そう思わない」及び「わからない」が9名・3.9%、昨年度13名・5.3%あり、昨年度とほぼ同じ傾向にある。今後は、園の「公開」や「見える化」の方針や個人情報の取り扱い等を説明しながら、できるだけ広く公開することを工夫していきたい。

⑤	保護者のアンケート	今年度も回収率が92.03%となり、昨年同様多くの保護者にアンケートのご協力を頂いた。また、調査項目10項目全てにおいて、「そう思う」が95%を越える値であり、園や職員にとって大変ありがたく、これからの教育・保育に取り組むモチベーションを向上させることにつながると思う。ただし、「そう思わない」があることを真摯に受け止め、保護者の期待を裏切らないように、子ども中心の教育・保育のさらなる向上に努めていきたい。また、具体的な取り組みや保育内容を盛り込んだアンケート内容になるよう、工夫・改善していきたい。
⑥	職員の自己評価	多くの職員が、10項目全てにおいて、「あてはまる(努力した)」と自己評価し、「A」評定となった。教育・保育については、自信をもってがんばったと全員が評価している。ふたばの職員の教育・保育に対する姿勢は、前向きで素晴らしいと感じる。これも、保護者の方から高い評価をいただいたことが励みになり、職員一人一人が、子ども中心の教育・保育に自信ややりがいを持ち、日々の教育・保育の実践に臨んでいる証だと思う。今後も、子ども一人一人のために、資質の向上に励み、保護者との連携を密にしながら、保育の「見える化」に取り組んでいきたい。また、「チームふたば」の意識をもって組織力を高め、全職員が一丸となり、子どもの健やかな育ちに関わっていきたい。

## 10. 「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

<p>○いずれの項目も95%以上が「そう思う」と回答されており、園の方針や取り組みについて、保護者も理解・賛同し、共に子どもを育てていくパートナーとして信頼されているのが伝わってきた。このままぶれることなく、子どもを主体とする遊びを中心とした教育・保育を、今後も全職員で研鑽を積んでほしい。(学識経験者)</p> <p>○「そう思わない」と答えた保護者について、少数意見を大事にすることも必要ではあるが、とらわれすぎることはないと思う。一方で、こうした意見があることで、今後も丁寧に園の実践や保護者との連携を振り返り、改善していくきっかけになる。(学識経験者)</p> <p>○今年度はアンケート項目の整理及び内容の見直しが行われており、アンケートに答える保護者は園で実践されている教育・保育の実態をイメージしながら書くことができたと思う。また、「ふたばでは」と主語を変更したことにより、より回答しやすくなったと思われる。(地域代表)</p> <p>○職員が自身の日々の実践を振り返ることができ、ほとんどの職員が努力したと自己評価をしているのはすばらしい。日々の研修の積み重ねが、「チームふたば」のパワーアップにつながっている。(地域代表)</p> <p>○園の公開の場を増やしたことで、子どもの様子を見ることができ、園の理解につながっている。今後も積極的に取り組んでほしい。(地域代表)</p> <p>○インスタグラムで先生方の勉強会の様子を載せて頂いているが、できれば勉強会の成果が子どもたちのよりよい保育につながっているのか、具体的に発信してもらえると、より保護者の理解につながると思う。(保護者代表)</p> <p>○年々、「遊びは学び」子ども主体の理念が保護者に伝わってきていると思う。(保護者代表)</p> <p>○園を公開する機会を減らさずにこれからも続けてほしい。1号園児の保護者に、もう少し電話や直接に先生と話せる機会を増やしてほしい。(保護者代表)</p> <p>○送迎の登園時に、先生があいさつをして、子どもを受け取ってほしい。(保護者代表)</p> <p>○子どもの成長ぶりを見て、ふたばの教育・保育は大丈夫と自信を持って言えます。(保護者代表)</p> <p>○「おたのしみ会」や「夏まつり」などで、当日までの子どもたちの活動の過程を写真や文で紹介してあり、すごく良かった。当日参加できない子どもでも、頑張った過程を見ることで、親も安心すると思う。(保護者代表)</p>
--

## 11. 今回の「園の自己評価」全般を通しての感想や意見・課題など

<p>○自己評価の高さは、自身やモチベーションの高さを表しており、職員のみならず自分たちの園の実践や取り組みに誇りを持っていることがわかる。その背景には、日々の研修の積み重ねがあり、チームとして質の向上に努めてきたことが、こうした結果につながっている。(学識経験者)</p> <p>○職員の前向きさは子どもの姿に現れ、子どもの姿から保護者に高い評価を頂くことにつながり、それがまた職員の自信や意欲につながり、とてもよい「正」の循環が起きている。こうした取り組みを地域や全国に発信してほしい。(学識経験者)</p> <p>○「遊びは学び」という園の方針を受けて、先生方の取り組みの成果が高くなってきている。その努力が子どもの成長にどうつながっているのか、その姿を保護者にどう伝えていくのが課題であると思う。今後、公開の機会をいろいろ工夫し、増やしていくことも必要であると考えている。(地域代表)</p> <p>○関係者評価委員に参加させて頂き、見えなかった園の運営や先生方の思いや苦労などたくさん知る機会となり、とても良い経験となった。子どもを通して、先生方がどれほどよりよい園生活を送れるようにと考えてくれるのは感じられていたが、より感謝の気持ちが増した。これからは多くの保護者に、園や先生方の思いや理念が理解され、子どもたちの園生活が充実したものになってくれればと願っている。(保護者代表)</p> <p>○外部から評価され、賞などをもらえる園であるが、その大変さなど保護者の一部に伝わっていないのが残念である。保護者(人)はいろいろな考えの方がおられるので、皆同じ扱いはできないが、保護者との連携をできるだけ図り、信頼関係を作っていけば、評価は変わっていくと思う。(保護者代表)</p>
---

## 12. 関係者評価委員会による評価を終えて

- 評価アンケートの回収率が92%という高い回収率となった。ここ数年90%以上の回収率であり、保護者のご協力及び園に対する関心と期待の現れだと嬉しく思う。これからも、園の様子を公開し、様々な「見える化」の手段を工夫し、保護者の方がより安心して子どもを預けられる園になるよう努めたい。またアンケートにも回答しやすいように、アンケート内容の改善と工夫を行っていききたい。
- 関係者評価委員の方からは、すべての項目で「A」評価をいただいた。保護者及び関係者評価委員の方の高い評価は、職員にとっても園にとっても大変ありがたいし、励みになる。職員のモチベーションが高くなり、自分たちの教育・保育に自信が持てると思う。
- 「総合評価」や「次年度の課題、改善策」の欄に記載しているとおり、関係者評価委員の皆様からたくさんのご意見をいただいた。その多くが、子ども主体の遊びを中心にした教育・保育の実践とその成果について、賛同していただき、褒めていただき、さらなる期待をしていただくご意見であった。大変ありがたいことであり、頂いたご意見が更なる教育・保育の向上の糧になるようしていきたい。また、改善すべきご意見についても、次年度の課題として改善や工夫を行っていききたい。
- いくつかのアンケート項目に、「分からない」や「そう思わない」のご意見が数%あった。こうした意見があることを真摯に受け止め、今後も丁寧に園の教育・保育や保護者との連携等を振り返り、改善していくきっかけにしていきたい。
- ふたばの会（PTA）より保護者代表として2名の委員をお願いしている。両名とも、「関係者評価委員になり、園の教育・保育や運営等の考えや実践等を見聞し、改めて、質の高い教育・保育が展開されていて、そのための日々の職員の努力があることを知ることができた。」と言われた。多くの保護者に、委員となられた保護者のように、園の方針や教育・保育、職員の姿勢等を具体的に、分かりやすく公表し、園を理解して頂くことが大切であると思った。
- 職員研修は教育・保育の質の向上のために、これまで計画的に、欠かすことなく続けてきた。そして、その成果が日頃の保育の中で活かされてきたと思う。職員の「子ども中心の教育・保育」に対する取り組みや能力が確実に向上してきている。これからも、「子ども中心の教育・保育」を県内で先導できる園として信頼されるように、研鑽を積んでいきたい。